

令和4年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまろ

令和4年度

京都府

1 第4次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合	目標	—	72%	74%	76%	78%	80%
		達成状況	69.1%	65.7%	53.1%			
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 心身の健康増進には、栄養バランスに配慮した食事を習慣的に摂取することが大切で日本型食生活にも繋がります。								
<調査方法> 農政課「食育・食生活にかかるアンケート調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録) (きょうと食育強化月間の啓発) (動画を活用した子育て世代向け食育啓発) (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発) (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発) (食育事例集の作成、啓発) (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発) ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2	朝食を毎日食べる府内小学生の割合 (6年生)	目標	—	87%	89%	91%	93%	95%
		達成状況	85.3%	84.3%	83.1%			
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合 (3年生)	目標	—	82%	84%	86%	88%	90%
		達成状況	79.7%	80.0%	77.6%			
<担当課> 教育庁保健体育課、社会教育課、学校教育課								
<目標設定の考え方> 朝食は、基本的な生活習慣を身につける観点から非常に重要であり、とりわけ、子どもの朝食摂取に向けて、家庭や学校等関係者が連携し取組を推進します。								
<調査方法> 文部科学省「全国学力・学習調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府食育推進連絡協議会による取組 ・京都府食育推進交流会による取組 ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰への推薦及び広報活動 ・農政課実施の食のみらい宣言への参加を促す。 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	きょうと食いく先生の授業数	目標	—	425授業 /年	457授業 /年	490授業 /年	522授業 /年	554授業 /年
		達成状況	373授業 /年	216授業 /年	429授業 /年			
<p><担当課> 農林水産部農政課</p>								
<p><目標設定の考え方> 食の専門家である「きょうと食いく先生」が持つ知識や経験で、学校等での食育活動を支援します。</p>								
<p><調査方法> 農政課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・きょうと食いく先生等派遣事業利用セミナーの開催【丹後広域振興局農林商工部】 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース)	目標	—	22%	24%	26%	28%	30%
		達成状況	20.6%	17.7%	18.6%			
<p><担当課> 教育庁保健体育課</p>								
<p><目標設定の考え方> 学校給食に地場産物（京都府産の食材）を活用することで、地域の自然や食文化等の理解を深め、感謝の心を育むなどの取組を推進します。</p>								
<p><調査方法> 文部科学省「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町（組合）教育委員会と農林水産部局が連携し、学校給食への地場産物活用が促進するよう促す。 ・京都府学校給食会へ地場産物使用状況等の情報提供を行い、府内産食材の取扱い促進について依頼する。 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	目標	—	70%	77%	85%	92%	100%
		達成状況	68.0%	65.4%	73.1%			
<p><担当課> 農林水産部農政課</p>								
<p><目標設定の考え方> 市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。</p>								
<p><調査方法> 農林水産省「食育推進計画等に関する調査」</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> ・市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
6	きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店数	目標	—	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗
		達成状況	788店舗	796店舗	804店舗			
<p><担当課> 健康福祉部健康対策課</p>								
<p><目標設定の考え方> エネルギーやアレルギー表示、野菜や塩分に配慮した食事を提供する「食の健康づくり応援店」を通して、府民の健康的で安全な食環境整備を推進します。</p>								
<p><調査方法> 健康対策課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> ・きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店事業 ・地域の食に関わる情報を収集し対象となりそうな店舗の開拓。 会議等における応援店PRのチラシの配布。【丹後保健所】</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
7	京の食文化の語り部のオンライン講座 受講者数	目標	—	100人 /年	150人 /年	200人 /年	250人 /年	300人 /年
		達成状況	0人 /年	81人 /年	326人 /年			
<p><担当課> 農林水産部流通・ブランド戦略課</p>								
<p><目標設定の考え方> 府内の農林水産物や食文化に造詣の深い京の食文化の語り部の普及活動を通じて、府内農林水産物の魅力発信や食育活動の活性化を推進します。</p>								
<p><調査方法> 流通・ブランド戦略課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会の開催 ・京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルを活用した動画の公開 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
8	和食文化人材の育成人数 (京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数)	目標	—	90人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年
		達成状況	36人 /年	102人 /年	135人 /年			
<p><担当課> 文化スポーツ部大学政策課</p>								
<p><目標設定の考え方> 食文化に関わる（担う・支える・楽しむ）人を増やし、その裾野を広げる取組を推進します。</p>								
<p><調査方法> 大学政策課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・和食文化人材の育成 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
9	ICTを活用した情報発信数	目標	—	60回 /年	120回 /年	180回 /年	240回 /年	300回 /年
		達成状況	30回 /年	372回 /年	402回 /年			
<担当課> 部局共通								
<目標設定の考え方> 新しい生活様式・新たな日常への対応として、オンラインでの情報発信等、ICTを活用した効果的な取組を推進します。								
<調査方法> 担当課集計								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組【農林水産部農政課】 （動画を活用した子育て世代向け食育啓発） （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） ・京都府食の府民大学の講義の充実【農林水産部農政課】 ・京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信【農林水産部農政課】 ・cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信【農林水産部流通・ブランド戦略課】 ・京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発【農林水産部畜産課】 ・きょうと食いく先生等食育実践者間の意見交換会の開催【丹後広域振興局農林商工部】 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
10	ICTを活用して食育宣言を行う府民の数	目標（累計）	—	500人	1,500人	3,500人	6,500人	10,000人
		達成状況	0人	2,147人	5,216人			
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 健全な食生活の実践に向けて、具体的な取組目標や取組結果等を宣言するもの。従来の紙媒体等による募集方法からSNS等を効果的に活用する方法に替えることで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促します。								
<調査方法> 農政課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） 								

2 取組一覧（令和4年度）

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 （※）	推進計画における施策との対応					推 進 計 画 に お け る 目 標 と の 対 応
				多様な主体			効果的な推進		
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常	
農林水産部									
農政課									
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録）	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうと食育強化月間の啓発）	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （動画を活用した子育て世代向け食育啓発）	11	A	○			○	○	1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発）	12	A	○	○	○	○	○	10
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発）	13	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （食育事例集の作成、啓発）	13	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発）	14	A	○		○			1
	きょうと食いく先生等派遣事業 （派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催）	14	B		○	○			3
	子ども用調理器具貸出事業の実施	14	B		○				
	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援	15	A			○			5
	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサ ポーターの養成、食育体験講座の開催	15	A			○	○	○	1
	京都府食の府民大学の講義の充実	15	A	○	○	○	○	○	9
	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信	16	A	○	○	○	○	○	9
農村振興課									
	子どもを対象とした農業体験の開催	16	A			○			
	高校生・大学生による農業関連実践活動	16	A		○				
経営支援・担い手育成課									
	農業体験活動の推進	17	A				○		
流通・ブランド戦略課									
	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会の開催	18	A				○		7
	京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルを活用した動画の公開	18	A				○		7
	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信	18	A	○			○		9
	「京野菜マルシェ」の開催	19	B				○		
	「旬の京野菜提供店」の認定	19	B				○		
	京都府農林水産フェスティバルの開催	19	A	○		○			

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進計画における 目標との対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
農産課									
	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	19	B				○		
	茶育の推進	20	A		○		○		
畜産課									
	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発	20	A				○	○ 9	
水産課									
	水産教室の開催	20	A		○		○		
	都市漁村交流の促進	21	A			○	○		
府民環境部									
循環型社会推進課									
	食品ロス削減のための啓発事業の実施	21	A				○		
丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）									
	郷土料理作り	21	B	○	○	○	○	○	
	おくどさん体験及び夕食づくり	21	A	○	○	○	○	○	
	石窯パン・ピザ作り	22	B		○	○	○	○	
	アースデイ丹後	22	A	○		○	○	○	
文化スポーツ部									
文教課									
	私立幼稚園・学校等への食育推進事業	22	A		○				
大学政策課									
	和食文化人材の育成	22	A				○	8	
健康福祉部									
こども・青少年総合対策室									
	食育に関する事業案内等の周知	23	A		○				
家庭支援課									
	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進	23	A			○			
高齢者支援課									
	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成	23	A	○		○		1	
健康対策課									
	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	24	A			○		6	
	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	24	A			○		1	

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進計画における 目標との対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
山城地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	山城マルシェの開催	24	A			○	○		
	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	25	A			○		○	
	やましろ産食材（海老芋、花菜）を使った商品開発と情報発信	25	A	○			○	○	
	食の体験ツアー	25	A	○			○	○	
山城南農業改良普及センター									
	和束町地産地消推進協議会 レシピBOOK作成支援	26	A	○		○	○	○	
	きょうと食いく先生のレンコン収穫体験（加茂町）	26	A	○		○	○		
	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）	26	A		○		○		
山城北保健所									
	健康づくりイベントにおける食育啓発活動	27	A	○		○			
	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	27	A	○		○			
南丹地域									
振興局農林商工部地域づくり振興課									
	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	27	A			○			
南丹農業改良普及センター									
	地元小学校の児童を対象とした食育活動	28	A		○				
	栽培から収穫まで行う食育	28	A		○				
南丹保健所									
	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催	29	B	○	○	○			
	京都丹波地域配食サービスリストの更新及び周知	29	A	○		○			
	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」	29	A	○	○	○			
中丹地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	ジビエ料理レシピコンテスト	30	A	○		○	○		
中丹西農業改良普及センター									
	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）	30	A		○		○		
	多様な人材の農業参入・参画を促進（幼稚園）	31	A		○		○		

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進計画における 目標との対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
丹後地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	きょうと食いく先生等食育実践者間の意見交換会の開催	31	A			○	○		9
	きょうと食いく先生派遣事業利用セミナーの開催	32	A		○				3
丹後農業改良普及センター									
	小学校の食育活動に対する支援	32	A		○				
丹後保健所									
	食育フォーラムの開催	32	A	○	○		○	○	
	食育月間の取組	33	A				○		
教育委員会									
保健体育課、学校教育課、高校教育課									
	学校教育活動全体を通じた食育の推進	33	A		○				
	調理体験等の充実	34	A		○				2
	学校給食を活用した食育の推進	34	A		○				
保健体育課、学校教育課、社会教育課									
	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進	35	A	○					2
保健体育課									
	地場産物を取り入れた学校給食の促進	35	A		○				4
	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	36	A		○				3
	教職員研修の充実	36	A		○				
教職員人事課									
	採用選考試験等の実施	36	A		○				
件数	70			27	30	34	34	15	

※「評価」A：実施済み B：未完了・未達成

3 個別の取組（令和4年度）



担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録）				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク^(※)において、府内で食育に取り組む様々な関係者が集い、それぞれの特性を生かしながら、協働し、府民運動として食育を推進します。きょうと食育ネットワーク団体やきょうとの食育サポート企業の食育支援活動など食育の情報をホームページ等で情報提供します。</p> <p>(※)保健衛生関係、農林水産関係、教育関係、大学関係、商工関係、消費者関係、NPO等、報道関係、行政関係の計88団体が加入</p> <p>目標：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p>				
取組の実績	<p>令和3年4月から開始した「第4次京都府食育推進計画」の推進に向けて、きょうと食育ネットワーク参画団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」の啓発を行うこととして、情報交換会をオンラインで開催しました。</p> <p>実績：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p> <p><情報交換会> 日時 令和4年7月8日（金）オンライン開催 内容 きょうと食育ネットワークにおける食育の取組 「私の経験した世界の食と子どもたちに伝えたい想い」 京都華頂大学 ロシニョーリ正代 准教授 意見交換 参加者 63名（食育ネットワーク会員、きょうとの食育サポート企業、きょうと食いく先生、ヤングサポーター、関係団体、企業、行政等食育関係者）</p>				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 （きょうと食育強化月間の啓発）				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進します。</p>				
取組の実績	<p>参画団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進しました。京都府食の安全・食育情報 Facebook、Twitter等による情報発信、府庁ロビー展示を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>京都府食の安全・食育情報Facebook、Twitter</p> <p>京都府庁ロビー展示</p>				
評価	A				

施策	家庭、食育の関心、 新たな日常	目標	1
----	--------------------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)		
取組の内容	<p>府民の間で広く食育への関心を高め、家庭で食育を実践するきっかけとするため、仕事や家事に忙しい「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「動画」を制作し、動画を題材とした「食育トークショー」を開催します。</p> <p>目標：動画の制作 2編、トークショーの開催 1回</p>		
取組の実績	<p>府民の間で広く食育への関心を高め、家庭で楽しく食育を実践する契機とするため、食育の啓発が届きにくかった「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「レシピ動画」を制作し、SNS等を活用して広く発信しました。</p> <p>また、きょうと食いく先生が考案した子どもと挑戦したい簡単で美味しいレシピを紹介し、家庭と学校の楽しい食育のつながりを、大学教員を交えて解説する「“できる”から始まる楽しい食育トークショー」をライブ配信で開催しました。</p> <p>出演：本藤 靖 氏（宮津の漁師／きょうと食いく先生）※レシピ考案 左 聡一郎 氏（辰巳屋八代目主人／きょうと食いく先生）※レシピ考案 コーディネーター：藤本 勇二 氏（武庫川女子大学教育学部教育学科准教授）</p> <p>実績：動画制作4本</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>レシピ動画 2本 「宮津の漁師・本藤さんが食べてる獲れたて漁師飯レシピ」 「宇治の料理人・左さんが考えただしが決め手のあじわいレシピ」</p> <p>レシピ動画ダイジェスト版 2本（15秒・60秒）</p> </div> <p>発信 (府民だより、京都府広報課SNS、京都府食の安全・食育情報SNS、関係団体SNS等)</p> <p>トークショーライブ配信</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>開催日時：令和4年7月23日（土）10時～11時30分 参加者：オンライン161人、会場11人 その他：開催後、アーカイブ配信（アーカイブ視聴（令和5年3月末時点）600回） トークショーダイジェスト版を作成</p> </div>		
評価	A		




施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	10
----	-----------------------	----	----

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)		
取組の内容	<p>望ましい食生活の実践に向けて、府民自らが具体的な取組目標を宣言し、取組結果を共有するもので、きょうと食育ネットワークの連携・協力のもと、SNS等を効果的に活用することで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促進します。</p> <p>目標：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 1,500人</p>		
取組の実績	<p>イベントやSNS等において、府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。</p> <p>「第6回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール」では、6月の食育月間から11月のきょうと食育強化月間に合わせて募集期間を設定したことで、学校関係者をはじめ、より多くの方にご応募いただきました。また、昨年に引き続き実施したSNSでの募集に加え、コンクールの一部選考を参加型にし、京都府農林水産フェスティバル内で実施することで、より多くの府民の方々に取組を共有することができました。</p> <p>コンクール外では、食に関するイベントと連動して参加者アンケート方式で、府民自らの食育活動の宣言を収集しました。</p> <p>○第6回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール：995人 概要：府民等から、「自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言）」と「その目標達成に向けた実践活動」を募集し、応募作品の中から事務局及び選考意見聴取会で入賞作品を決定し、表彰する。 募集内容：①自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言） ②目標達成に向けた実践活動についてのコメント ③活動の様子が分かる写真等 応募方法：Instagram、Eメール又は郵送により応募 募集期間：令和4年6月6日～11月11日 応募総数：497点 入賞：20点 最優秀賞1点、優秀賞5点、特別賞3点、佳作10点 ○参加者アンケート：2,074人</p> <p>実績：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 3,069人</p> <div style="text-align: right;">   <p>コンクールちらし Instagram応募</p> </div>		
評価	A		

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)		
取組の内容	府内における食育活動を推進するために、きょうと食育ネットワーク団体や、市町村、府、学校など公的機関、地域の活動グループ等が行う食育活動を積極的に支援・協力する企業を『「きょうとの食育」サポート企業』として登録し、ホームページ等で情報提供を行います。 また、きょうとの食育サポート企業と連携して、食育啓発を行います。		
取組の実績	<p>旬の野菜を味わい、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を楽しんでいただけるよう、近畿の自治体が味の素(株)、イオンリテール(株)と連携し、啓発レシピブックを作成し、イオンスタイル京都桂川で啓発イベントを実施しました。</p> <p>○ 「近畿の旬の野菜をおいしく食べようレシピブック」の作成、イベント開催 日時：令和4年6月11日(土) 場所：イオンスタイル京都桂川 内容：レシピブックの配付(京都府産の九条ねぎや大黒本しめじ等、近畿の旬の野菜等を使用したレシピ、各自治体からのお知らせ等を掲載)、メニュー展示、京都府産食材の展示・販売・リーフレット配架、京都府・京都市作成の野菜啓発動画放映、食育ポスター掲示 連携：味の素(株)大阪支社、イオンリテール(株)、京都市、京都府</p> <p>※京都府HP：https://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/news/network_yasai.html</p>		
			
	レシピブック	京都府ページ：2次元コードのリンク先	レシピ掲載の食材を販売
評価	A		

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体等の食育情報等を収集し、ホームページ、FacebookやTwitter、食育メーリングリスト等により提供します。きょうと食育ネットワーク団体等による食育の取組を情報発信します。		
取組の実績	<p>きょうと食育ネットワーク団体、府内市町村等から食育情報を収集し、事例集を作成するとともに、京都府食の安全・食育情報Facebook、Twitterで紹介しました。</p>		
			
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」の取組を実施します。		
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 食育ネットワーク参画団体や食育関係者参加のもと、情報交換会をオンラインで開催しました。(再掲) 仕事や家事に忙しい子育て世代を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「レシピ動画」を制作するとともに、トークショーのライブ配信やSNS等により拡散しました。(再掲) 味の素(株)、イオンリテール(株)、京都市等と連携し、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の啓発レシピブックを作成・配付し、イオンスタイル京都桂川で啓発イベントを開催しました。(再掲) ICTを活用して府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。(再掲) 		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	学校等、地域	目標	3
----	--------	----	---

取組事項名	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)		
取組の内容	<p>学校等において、食の大切さや食を支える農林水産業の重要性を学ぶ機会を増やし、農林水産物の生産や調理・加工等の食農体験指導を行う人材を育成するため、きょうと食いく先生養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。</p> <p>また、きょうと食いく先生を、保育所、学校、地域等に派遣し、体験を通じた「命」と「食」の大切さを学ぶ食育活動を支援します。</p> <p>目標：養成講座の開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 457授業 京都府食育推進交流会の開催 1回</p>		
取組の実績	<p>きょうと食いく先生の養成、認定(令和4年度新規認定者35名)を行いました。授業数は、新型コロナウイルス感染症の影響で近年減少していましたが、ICTの活用や周知を工夫することで、オンラインを活用した授業や新規団体の活用が増加し、回復しました。引き続き、一層周知を図り、食いく先生の活動拡大を目指します。</p> <p>実績：養成講座の開催 1回(オンライン会場及び現地4会場) きょうと食いく先生の授業数 429授業 京都府食育推進交流会の開催 1回(オンライン開催)</p>		
評価	B		

担当または窓口 農政課

施策	学校等	目標	
----	-----	----	--

取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施		
取組の内容	<p>子どもを対象とした調理実習を推進するため、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。</p> <p>目標：10回</p>		
取組の実績	<p>保育所等で実施する調理実習の機会に子ども用調理器具の貸出を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、調理実習の開催が少なかったことから、実施回数は目標に達しませんでした。</p> <p>実績：8回</p>		
評価	B		

担当または窓口 農政課

施策	地域	目標	5
----	----	----	---

取組事項名	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援		
取組の内容	市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。 目標：市町村等食育担当者会議の開催 1回		
取組の実績	計画作成に関する作業手順や計画のひな形等を示した「市町村食育推進計画作成の手引き」を令和3年4月に作成し、令和4年12月に改定。作成時期が未定である市町村を近畿農政局と巡回し、市町村担当課長あて意見交換や手引きの説明を行うとともに、市町村等食育担当者会議を開催しました。令和4年度は2市町村策定し、府内作成率は73.1%になりました。 実績：市町村等食育担当者会議の開催 1回		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	地域、食育の関心、 新たな日常	目標	1
----	--------------------	----	---

取組事項名	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催		
取組の内容	将来を担う若者が食に触れ、親しむ機会を増やし、食の安全及び食文化、食を大切にする意識の向上を更に高めるため、大学生等を対象に、食の安心・安全や食育等に関する知識や府が実施する事業等に関する研修会等を開催し、食に関して高い意識を持つ大学生等を養成します。 また、大学生等が京都府の農業や食文化、食育等に対する理解醸成を図ること等を目的に、食育体験講座を開催します。 学生等が動画などの啓発媒体の作成・周知に携わるなど、食の重要性を学ぶ者自らが、周囲を巻き込みながら情報発信を行います。 目標：養成数 140名、食育体験講座の開催 1回		
取組の実績	第4次京都府食育推進計画の「若い世代の食への関心の向上」「ICTを効果的に活用した食育の取組」の一環として、大学生にきょうと食いく先生の取材の機会を提供し、京都府の農林水産業や食文化に対する理解醸成とともに、動画作成をはじめ効果的な食育の手法の提案を通じて、食への意識向上を図ることを目的に、研修会を開催しました。 実績：養成数 176名、食育体験講座の開催 1回		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	家庭、学校等、地域、 食育の関心、新たな日常	目標	9
----	---------------------------	----	---

取組事項名	京都府食の府民大学の講義の充実		
取組の内容	府民の食に関する学習環境の充実を図るため、忙しい方でも、時間や場所にとらわれずに学べるツールとして、「京都府食の府民大学」（京都府食の安全・食育YouTube）の動画公開を充実させ、食に関する知識や技術を習得する機会を提供します。 （京都府食の府民大学： https://www.pref.kyoto.jp/fumindaigaku/index.html ） 目標：総動画再生数 4万回		
取組の実績	新型コロナウイルス感染症の影響で集合型のイベント等に参加しにくい中でも、食に関する情報を入手できるよう、15講座を新規作成し、「京都府食の府民大学」のサイトに公開しました。 実績：総動画再生回数 6.1万回 新規講座 15本 （きょうと食いく先生大学生作成動画 6本、”できる”から始まる楽しい食育 4本、 リスクコミュニケーション 1本、食の多様性 1本、食育推進交流会 1本、 食いく先生養成講座 1本、きょうと食育ネットワーク情報交換会 1本）		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-----------------------	----	---

取組事項名	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信		
取組の内容	<p>京都府食の安全・食育情報Facebook、Twitter等で、食育の事例紹介や、食のまめ知識、郷土料理のレポート等、食に関する情報を定期的に発信します。</p> <p>目標：SNS等を活用した情報発信数 120回</p>		
取組の実績	<p>SNS（京都府食の安全・食育情報Facebook、Twitter等）を活用して定期的に情報発信し、広く府民等に食に関する取組情報等の提供を行いました。</p> <p>実績：SNS等を活用した情報発信数 146回</p>		
評価	A		



担当または窓口 農村振興課

施策	地域	目標	
----	----	----	--




取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催		
取組の内容	<p>次世代を担う子ども達が地域内外の人達と一緒に、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組を実施します。</p> <p>目標：農業・農村体験イベント 20地区</p>		
取組の実績	<p>ふるさと保全活動等を府内5地区で実施しました。棚田模型を活用し、田んぼが有する多面的機能について学習するとともに、それらを支える農業用施設や生き物を幅広く学び、地域の農業・農産物について深く考える機会となりました。</p> <p>実績：農業・農村体験イベント 5地区</p>		
評価	A		

担当または窓口 農村振興課

施策	学校等	目標	
----	-----	----	--

取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動		
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標：参加学校数 5校</p>		
取組の実績	<p>令和4年度は教育実践パートナーシップ活動（※）等を府内3校で取組を実施しました。「地域の食」や「農業」をキーワードに、地域の方とともに農業や水利施設等の農業用施設の学習や農作業体験等の取組を実施し、学生の知識を深めました。</p> <p>（※）教育実践パートナーシップ活動：水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組</p> <p>実績：参加学校数 3校</p>		
評価	A		

施策	食育の関心	目標
----	-------	----

取組事項名	農業体験活動の推進	
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、野菜や果樹（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ収穫体験（300人） ・万願寺とうがらし収穫体験（350人） ・ブルーベリー収穫体験（500人） ・サツマイモ収穫体験（250人） ・ミカン収穫体験（50人） <p>目標：1,450人</p>	
取組の実績	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫体験を行い、「農業体験」活動を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉ねぎ収穫体験 実施日：5月12日～5月29日、参加者：287人 ・万願寺とうがらし収穫体験 実施日：7月25日～9月2日、参加者：371人 ・ブルーベリー収穫体験 実施日：7月30日～9月9日、参加者：599人 ・サツマイモ収穫体験 実施日：10月13日～11月21日、参加者：556人 ・ミカン収穫体験 実施日：11月4日～11月18日、参加者：129人 <p>実績：1,942人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>万願寺とうがらし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サツマイモ</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
評価	A	

		施策	食育の関心	目標	7
取組事項名	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会の開催				
取組の内容	京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化の語り部によるオンライン講演会を開催します。				
取組の実績	<p>京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化の語り部によるオンライン講演会を全3回開催しました。</p> <p><開催実績></p> <p>第1回目 【日本酒 旬の味わい】～季節と日本酒、酒肴と美酒～ 開催日時：令和4年9月4日（日）16：30～18：00 講師：川添智未氏 参加者：22名</p> <p>第2回目 【京都の海業】～どんなものが、どこから、どこへ～ 開催日時：令和4年11月29日（火）10：00～11：30 講師：沖由憲氏 参加者：21名</p> <p>第3回目 京野菜オンライン講演会 開催日時：令和4年12月20日（火）14：00～15：30 講師：松田武子氏 参加者：34名</p>				
評価	A				

		施策	食育の関心	目標	7
取組事項名	京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルを活用した動画の公開				
取組の内容	京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルにおいて、京の食文化の語り部があじわい館の展示を紹介する動画を公開します。（10本程度）				
取組の実績	<p>京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルにおいて、京の食文化の語り部が京都の食文化やあじわい館の展示を紹介する動画を公開しました。</p> <p>現在の動画公開本数：10本</p>				
評価	A				

		施策	家庭、食育の関心	目標	9
取組事項名	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信				
取組の内容	cookpad京都府公式キッチンにおいて、旬の京都府産農林水産物の情報発信、レシピ紹介を実施します。				
取組の実績	<p>cookpad京都府公式キッチンにおいて、京都府産農林水産物やそれらを使用したレシピの紹介に加え、食に関するイベント等の情報発信も実施しました。</p> <p>年間掲載数：175件</p>				
評価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	「京野菜マルシェ」の開催			
取組の内容	「京のブランド産品」をはじめ、京都の野菜を豊富に品揃えした「ほんまもん京野菜取扱店」等において、PR・販売促進等を行う「京野菜マルシェ」を開催し、京都府産農林水産物の周知・普及を図ります。			
取組の実績	令和5年度以降の「京野菜マルシェ」にて各店舗で活用できる販売促進資材（のれん、ミニのぼり）を作成しました。			
評価	B			

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	「旬の京野菜提供店」の認定			
取組の内容	いつでも、おいしい京野菜が食べられる飲食店「旬の京野菜提供店」を認定し、京野菜及び京都府産農林水産物の普及に取り組みます。			
取組の実績	令和4年度は、新規認定店舗はありませんでした。 全認定店：192店舗（京都府内）、71店舗（首都圏）			
評価	B			

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	京都府農林水産フェスティバルの開催			
取組の内容	農山漁村と都市との交流機会として、京都府農林水産フェスティバルを開催し、京都府産農林水産物及び農林水産業への理解を深めます。			
取組の実績	3年ぶりに京都府農林水産フェスティバル2022を開催しました。 開催日：令和4年11月26日（土）、27日（日） 場 所：京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 来場者：42,000人（2日間合計）			
評価	A			

担当または窓口 農産課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動			
取組の内容	京都府内の生活研究グループ等が取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。			
取組の実績	長岡京市内の小学校で味噌づくり講習を行うなど、生活研究グループの活動は増えてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の状態には戻りませんでした。 各地域に保持されている技能の登録や、農山漁村伝承優秀技能認定者の講師活動・伝承活動の場作りを積極的に行い、普及センターだよりへ掲載するなど、啓発・PRにも努めました。			
評価	B			

担当または窓口 農産課		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	茶育の推進			
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催（山城広域振興局）や、小学校での「宇治茶ふれあい教室」（茶協同組合）による茶育を行います。			
取組の実績	「キッズ茶ムリエ」は、対面形式で4回開催し、おいしいお茶の淹れ方教室を行いました。（参加者：小学生82人） 「宇治茶ふれあい教室」は、小学校単位で13回開催し、お茶の入れ方やお茶の種類・効能についての講義などを通じた茶育を行いました。（参加者：小学生877人）			
評価	A			

担当または窓口 畜産課		施策	食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発				
取組の内容	畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやツイッターをはじめとしたインターネットを通じた情報発信ツールを活用し、京都産畜産物の歴史や府内畜産農場に関する情報を発信することで、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消を推進します。 目標：ICTを活用した畜産物等に関する情報の発信 年15回（R3：年10回）				
取組の実績	畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやツイッターで、「京都産和牛」をはじめとした京都産畜産物や京のこだわり畜産物生産農場について発信し、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消を推進を図りました。 実績：ICTを活用した畜産物等に関する情報の発信 年60回				
評価	A				

担当または窓口 水産課		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	水産教室の開催			
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、府職員が京都の海や魚、漁業などに関する講義を行います。			
取組の実績	小学生を対象に、京都の漁業、養殖業の概要、阿蘇海環境改善等の取組について講義を行いました。 ①「海と日本プロジェクト in 京都実行委員会（KBS京都）」から、京都の漁業等についての講演依頼があり、令和4年9月4日京都市下京区「食文化ミュージアムあじわい館」において、京都市内の小学生（3年生以上）の親子ペア等16人を対象に、京都の漁業、養殖業等についての講演を実施しました。 ②与謝野町立山田小学校から、阿蘇海に関する講演依頼があり、令和4年10月4日同小学校において、4年生12人、教員3人を対象に、阿蘇海環境改善の取組、阿蘇海でのアサリ養殖等の講演を実施しました。 ③「海と日本プロジェクト in 京都実行委員会（KBS京都）」から、京都の水産物等についての講演依頼があり、令和5年3月9日京都市立池田小学校において、4年生児童30名を対象に京都の水産物等についての講演を実施しました。			
評価	A			

担当または窓口 水産課		施策	地域、食育の関心	目標
取組事項名	都市漁村交流の促進			
取組の内容	京都府の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、京都府産水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流活動に取り組む団体等を支援します。			
取組の実績	蒲入水産(株)による「漁港めし」の取組に対し、取組の改善やPR等の指導を実施しました。また、近隣地区で開始された漁業会社による飲食店の取組との差別化等について助言しました。 利用者：令和4年4月上旬から10月31日までの金、土、日、月及び祝日で3,112人			
評価	A			

担当または窓口 循環型社会推進課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施			
取組の内容	府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、10月の食品ロス削減月間を中心に、民間事業者等と連携した啓発を実施します。 また、京都府食べ残しゼロ推進店舗について、外食産業事業者向けの食品ロス削減セミナーで周知を行います。			
取組の実績	企業と連携し、食品小売店でポスター及びてまどりPOPを掲示し、府民に向けて一斉に啓発を行いました（てまどり＝すぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ行動）。また、府内の主要な駅構内等のデジタルサイネージをはじめ、府のYouTube、Twitter等のSNS及びラジオを通じた啓発を行い、食品ロス削減に向けた取組の実践を広く呼びかけました。 京都府食べ残しゼロ推進店舗の登録制度については、外食産業事業者向けの食品ロス削減セミナーを活用し、周知を行いました。			
評価	A			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	郷土料理作り			
取組の内容	体験プログラムの一つとして実施します。地域の方を講師として招き、丹後ならではの調理法や魚のさばき方などを伝えます。丹後の食文化を学ぶとともに、地産地消、フードロス削減の考え方にも触れ、普段の生活スタイルを見直すきっかけづくりを行います。 目標：小学校単位での利用などで年3回程度			
取組の実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しませんでした。			
評価	B			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり			
取組の内容	小学校単位や親子を対象に、「おくどさん」でご飯を炊き、公園内でとれた木を薪にして燃料として使うおくどさん体験や夕食づくりを実施します。			
取組の実績	園内に落ちている枝や落ち葉を集めて、マッチで火付けを行いました。森の活用方法や森を整備する意味を伝えました。水の量や火の加減、炊き上がりを調べる方法などを伝え、参加者自身でご飯を炊きました。 実績：6回 参加者：142人			
評価	A			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	学校等、地域、 食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	石窯パン・ピザ作り			
取組の内容	親子を対象に、石窯によるパン・ピザ焼き体験を行います。国産小麦を使用し、フードマイレージの話なども行います。			
取組の実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しませんでした。			
評価	B			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、地域、 食育の推進、新たな日常	目標
取組事項名	アースデイ丹後			
取組の内容	アースデイ丹後では、地元食材である魚介類や米などを使ったフードの出店を推奨し、来場者に提供を行います。原則、電気を使用せずに公園内でとれた薪や地元産の炭を使って調理を行います。			
取組の実績	地元食材の魚介類やジビエ、環境に配慮して作られた野菜や米などを使ったフードを用意し、当日は600人程度の来場者がありました。食を通して地球環境の事を考えるきっかけづくりが行えました。			
評価	A			

担当または窓口 文教課		施策	学校等	目標
取組事項名	私立幼稚園・学校等への食育推進事業			
取組の内容	園児・生徒の健康な心身の形成及び安心な生活基盤の育成を図るため、食育に関する学習等に取り組んだ私立幼稚園・学校等を支援します。			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、食育に関する教育活動を実施した私立幼稚園・小学校の取組（100件）に対し、支援を行いました。 私立学校（園）に対し、食育関連事業である「地産地消コーディネーター派遣事業」「令和4年度『めざせ！食品ロス・ゼロ』川柳コンテスト』の募集」等の周知を行いました。 			
評価	A			

担当または窓口 大学政策課		施策	食育の関心	目標	8
取組事項名	和食文化人材の育成				
取組の内容	<p>和食文化を、歴史学・文学・人類学・経営学・食品科学などの専門的な視点から教育・研究する中で、座学を中心とした学びとともに、京都の地の利を活かし、食に関わる料理人や生産者、消費者が、何を見、何を感じているかを、フィールドワーク・演習・実習で学び、和食文化の学識の上に、真の教養人として、現代人の知的関心に応え、世界に日本文化を発信する人材を育成します。</p> <p>目標：和食文化人材の育成人数（京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数） 120人／年</p>				
取組の実績	<p>和食文化を文系から理系にわたり横断的に習得できるカリキュラムを提供し、次代の和食文化を担う人材育成に貢献しました。</p> <p>実績：和食文化人材の育成人数（京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数） 135人／年</p>				
評価	A				

担当または窓口 とも・青少年総合対策室		施策	学校等	目標
取組事項名	食育に関する事業案内等の周知			
取組の内容	農政課からの食育に関する事業案内等について、府内の保育所や認定こども園に周知を行います。			
取組の実績	農政課からの食育に関する事業案内等について、市町村を通じて府内の保育所や認定こども園に広く周知を行いました。			
評価	A			

担当または窓口 家庭支援課		施策	地域	目標
取組事項名	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進			
取組の内容	すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもたちが安心して過ごせ、育ちや学びを総合的にサポートする「きょうとこどもの城」において、生活習慣の確立に向けた取組の一環として、食育の観点に配慮しながら、調理実習等を含めた食事の提供を行います。			
取組の実績	ひとり親家庭のこどもの居場所において、食育の観点に配慮しながら、生活習慣の確立に向けた支援を実施しました。 実施箇所：33箇所			
評価	A			

担当または窓口 高齢者支援課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成				
取組の内容	<p>高齢者の介護予防に資する通いの場において、フレイル・低栄養予防の指導を行う管理栄養士・栄養士を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通いの場など介護予防事業に従事する管理栄養士等への研修を実施 年1回、対面又は動画配信により開催 				
取組の実績	<p>令和4年度 介護予防従事者スキルアップ研修を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催：令和4年10月28日～11月30日（この間に動画視聴） 参加者：158名（管理栄養士等の職以外の者も含む） <p>なお、フレイルやオーラルフレイルに関する基礎知識の確認や、通いの場での実践が一層進むよう、令和5年3月に動画を京都地域包括ケア推進機構のホームページに掲載、常時視聴可能としました。</p>				
評価	A				

担当または窓口 健康対策課		施策	地域	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加				
取組の内容	<p>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。</p> <p>目標：800店舗の登録</p>				
取組の実績	<p>「エネルギー表示」「野菜たっぷりメニュー」「塩分控えめメニュー」「アレルギー表示」に取り組む府内飲食店などを『きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店』として登録し、店舗での表示やホームページにおける周知を行い、府民自らが健康を考えたお店選びに生かすとともに、飲食店の健康意識の向上を図り、健康的な食環境整備をすすめました。</p> <p>実績：804店舗の登録</p>				
評価	A				

担当または窓口 健康対策課		施策	地域	目標	1
取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数				
取組の内容	<p>「栄養」や「京らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。</p> <p>目標：年10,000個の販売</p>				
取組の実績	<p>「健康ばんざい京のおばんざい弁当」について、年11,543個の販売実績があり、また46種の弁当を認定しました。栄養バランスの良い食事をとりやすい環境・体制を整備し、正しい食習慣について普及啓発を行う機会となりました。</p> <p>実績：年11,543個の販売</p>				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心	目標	
取組事項名	山城マルシェの開催				
取組の内容	<p>山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。</p> <p>目標：5回</p>				
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 食の京都「山城いちおしマルシェ」を開催しました。 開催日：令和4年9月17日(土)、18日(日) 場 所：イオンモール久御山 内 容：2日間のべ23店舗が出店し、山城地域の農産物やそれらを生かした加工品を販売 山城マルシェ in JR宇治駅を開催しました。 開催日：令和4年7月12日(火)、10月18日(火)、11月15日(火)、12月13日(火)、1月17日(火) 場 所：JR宇治駅 内 容：京やましろ産食材提供店、直売所、JA等のべ48店舗が出店し、山城地域の季節の野菜や加工品等を販売 				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、新たな日常	目標
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大			
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：10店舗			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 7月15日～8月31日を募集期間として、登録店舗を募集しました。 登録実施要領を改正し、「京都府新型コロナウイルス感染防止対策認証制度の認証を受けていること」を要件に加えたことから26店舗について登録取り消しを行いました。10月3日外部審査員6名による審査を経て24店舗（飲食店14店舗、小売店10店舗）を新規登録しました（登録店舗数121店舗）。 			
評価	A			

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	家庭、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	やましろ産食材（海老芋、花菜）を使った商品開発と情報発信			
取組の内容	山城産食材（海老芋、花菜）を使用したメニュー開発を希望する京やましろ産食材店と生産者とのマッチングし、産地勉強会、新メニューの発表会を行い、産地への理解を深め、山城産食材の利用促進を行います。 対象：京やましろ産食材店、生産者 目標：3メニューの商品開発			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 京やましろ産食材提供店7店舗が、11月30日にえびいも、花菜の産産地を訪問し、生産者との交流を通じて食材の特徴・魅力について学びました。 12月7日に産産地を訪問した7店舗がえびいも、花菜を用いた新メニューを創作し、講評員7名に試食していただき、感想やアドバイスをいただきました。当新メニューは、店舗等で商品販売していただき、地産地消を推進しています。 実績：23メニューの商品開発			
評価	A			

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	家庭、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	食の体験ツアー			
取組の内容	府民が京やましろ地域の食文化を学び、地域食材を使って料理をつくることにより、地域の食文化への理解を深め地域食材の利用促進を行います。 対象：一般府民 目標：1回			
取組の実績	12月14日に「100年フード」として認定されている地元の食文化である松花堂弁当の起源をも学ぶとともに、地元産野菜である「えびいも」、「花菜」、「九条ねぎ」を使って松花堂弁当を作る料理講座を開催しました。 実績：1回（一般府民10人参加）			
評価	A			

担当または窓口 山城南農業改良普及センター

		施策	家庭、地域、 食育の関心、新たな日常	目標	1
取組事項名	和束町地産地消推進協議会 レシピBOOK作成支援				
取組の内容	和束町地産地消推進協議会が作成に取り組む地産地消レシピBOOKの作成支援を行います。				
取組の実績	レシピBOOKを電子媒体でも閲覧できるようにQRコードの掲載を提案する等、作成にあたる助言を行いました。3月末までに、和束町の農家民宿、民宿受け入れ農家等に700部程度配布しました。				
評価	A				

担当または窓口 山城南農業改良普及センター

		施策	家庭、地域、 食育の関心	目標	3
取組事項名	きょうと食いく先生のレンコン収穫体験（加茂町）				
取組の内容	Red Rice自然農園（株）（木津川市加茂町）が主催で地域住民を対象にレンコンの収穫体験を計画しています。普及センターは、収穫体験の実施を支援するため、補助事業の活用や当日運営の伴走支援を行います。なお、同社の代表取締役である赤穂達郎氏はきょうと食いく先生に認定されています。 時期：11月～3月 内容：手掘り専用のクワとすきを使用したレンコン収穫体験 1回10人程度、20回開催				
取組の実績	レンコン収穫体験を実施しました。 開催日：令和4年11月6日、12月4日、12月18日の3回 （各回1時間30分） 参加人数：延べ127人 普及センターでは、補助事業の活用や当日運営の伴走支援を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 山城南農業改良普及センター

		施策	学校等、 食育の関心	目標	
取組事項名	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）				
取組の内容	木津川市が主催し、相楽（さかなか）地域の農家の水田で小学生（4校、総数200名程度）に対して田植え、稲刈り体験を行います。普及センターでは運営支援を行います。				
取組の実績	田植え体験を実施しました。 開催日：令和4年6月2日、6月6日、6月10日 参加小学校：4校（220人程度） 稲刈り体験を実施しました。 開催日：令和4年10月6日、10月13日 参加小学校：3校（160人程度） 普及センターでは、開催にあたり運営支援を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 山城北保健所

		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	健康づくりイベントにおける食育啓発活動				
取組の内容	<p>各種イベント等、様々な機会において、望ましい食生活に関する情報提供や体験の機会を設け、食育の啓発に努めます。</p> <p>時期：①令和5年1月8日、②令和5年2月12日 場所：①宇治市生涯学習センター及び産業会館、②アルプラザ京田辺</p>				
取組の実績	<p>①うーちゃフェスタ内ブースにて、体験（心臓病リスクチェック）及び健康づくり・正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和5年1月8日（日） 場 所：宇治市生涯学習センター及び産業会館 参加者：40人</p> <p>②適塩及び野菜摂取増加を目的とした啓発イベントを実施しました。 開催日：令和5年2月12日（日） 場 所：アルプラザ京田辺店 参加者：約200人</p>				
評 価	A				

担当または窓口 山城北保健所

		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発				
取組の内容	<p>管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発に努めます。</p> <p>時期：①令和4年7月7日、②令和4年10月13日 場所：①城陽商工会議所、②(株)王将ハートフル、王将フードサービス久御山工場</p>				
取組の実績	<p>①集団健診会場にて、適正体重に関するクイズや媒体展示等により、啓発を行いました。 開催日：令和4年7月7日（木） 場 所：城陽商工会議所 参加人数：約100人</p> <p>②リーフレットの配布やポスター掲示により、従業員の健康づくりや食生活に関する啓発を行いました。 開催日：令和4年10月13日（木） 場 所：王将フードサービス久御山工場 媒体配布数：約200部</p>				
評 価	A				

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部地域づくり振興課

		施策	地域	目標	
取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催				
取組の内容	<p>ボランティアと農家とが一緒になって農作業で汗を流し、おいしい農産物をつくります。農村地域等との交流をとおして、農山村の活性化や地産地消を推進し、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。</p>				
取組の実績	<p>京都丹波の5地区で農作業応援を24回開催し、延べ156人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。 また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。</p>				
評 価	A				

担当または窓口 南丹農業改良普及センター

施策	学校等	目標	3
取組事項名	地元小学校の児童を対象とした食育活動		
取組の内容	<p>京丹波町瑞穂地区で水稻を生産している法人の食育活動を支援します。地元小学校の授業で生産者から苗づくりと田植えの方法について紹介後、普及センターからは米づくりの手順や地産地消に関する講義を行います。</p> <p>対象：京丹波町立瑞穂小学校</p>		
取組の実績	<p>地元小学校で米づくりの手順や地産地消についての資料を配付し、講義をしました。</p> <p>対 象：京丹波町瑞穂小学校 児童23名、教員3名 実施日：令和4年5月23日（火） 場 所：京丹波町瑞穂地区水稻生産ほ場 内 容：生産者から苗作りと田植えの方法について紹介した後、米づくりの手順と米の年間消費量について説明</p>		
評 価	A		

担当または窓口 南丹農業改良普及センター

施策	学校等	目標	3
取組事項名	栽培から収穫まで行う食育		
取組の内容	<p>地元小学校がきょうと食いく先生、当普及センターの協力を得て、小学校児童にきゅうりの栽培及び収穫までの食育を行います。</p> <p>対象：南丹市内小学校 目標：きょうと食いく先生の授業数 457授業/年（農林水産部農政課目標値）</p>		
取組の実績	<p>地元小学校が、きょうと食いく先生を講師として、小学生を対象に食育活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、普及センターからの説明を省略して、実施しました。</p> <p>対 象：南丹市内小学校 児童35名、教師6名 実施日：令和4年6月23日（木） 場 所：講師ほ場 内 容：講師が特産物であるキュウリの生産から消費者に届くまでを説明ほ場実習（収穫体験、巻きつると花の観察）</p>		
評 価	A		

担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、学校等、地域	目標
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催			
取組の内容	<p>南丹地域の食による健康長寿を目指すことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。また、本部会にて「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを作成し、野菜摂取量向上に向け、農産物直売所・一般飲食店・クックパット京都府公式キッチン・食環境部会構成団体を通じて、広く普及します。</p> <p>目標：食環境部会の開催 年1回 直売所及び飲食店への配布 年2回、配布枚数 計15,000枚</p>			
取組の実績	<p>構成団体（13団体）の出席を得て、7月5日に開催しました。3年ぶりの開催であり、各団体の取組の共有だけでなく、コロナ禍での新たな栄養課題について感じること等についても意見交換を行い、保健、保育、教育、ボランティア団体、農林部局と、各所属を越えて共通理解を深めることができました。また、管内の希望された70カ所の施設（常設野菜直売所50カ所、加工研究会代表（地域の農産物や伝統技法等を用い、製造加工を行っている施設）等5カ所、一般飲食店（食情報提供店）15カ所）に、7月、2月の2回、レシピカードの配布を行いました。その他にもクックパッド京都府公式キッチンにおける野菜レシピカードの掲載は計49種類、合計6万を越えるアクセスを得ました。</p> <p>実績：食環境部会の開催：1回 直売所及び飲食店への配布：年2回、配布枚数 計10,037枚</p>			
評価	B			

担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	京都丹波地域配食サービスリストの更新及び周知			
取組の内容	<p>南丹地域で食事について課題を持っている住民が、ニーズにあった食サービスが利用できるよう、利用可能な配食サービス資源リストを最新情報に更新し、必要とされる方が利用される施設等（病院、地域包括支援センター、訪問介護、訪問看護等）へ広く周知します。</p> <p>目標：配布枚数 2,500枚</p>			
取組の実績	<p>新たに嚥下調整食分類等の内容を追加し、また、より選択しやすいリストへと更新し、必要とされる方がよく利用される病院や診療所等へ配布するだけでなく、保健所ホームページ等へ掲載し、広く周知を行いました。</p> <p><配布先> 病院・診療所：74カ所 薬局：48カ所 老人施設：8カ所 地域包括支援センター：12カ所 通所介護事業所：25カ所 訪問看護事業所：29カ所 訪問介護事業所：38カ所 行政 等</p> <p>実績：配布枚数 2,630枚</p>			
評価	A			

担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、学校等、地域	目標
取組事項名	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」			
取組の内容	<p>働き盛り層の「肥満者の増加」や「野菜摂取量の不足」など食に関する課題解決に向けて、企業・大学と保健所が協働で、健康講座や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めます。</p> <p>目標：1箇所以上</p>			
取組の実績	<p>働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」の継続フォローとして、社員食堂を持つ事業所1ヶ所で、野菜摂取量向上に向けた展示やシールアンケート（1日に必要な野菜摂取量は〇皿分？）等を実施しました。</p> <p>実績：1ヶ所</p>			
評価	A			


担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課


		施策	家庭、地域、食育の関心	目標
取組事項名	ジビエ料理レシピコンテスト			
取組の内容	ジビエが日常的な食材として普及していくことを目的とし、家庭でも作れるジビエ料理のレシピコンテストを開催し、ジビエ料理を身近に感じる機会を提供します。			
取組の実績	令和4年7月19日から9月21日まで京都府ホームページでレシピを公募しました。 17点の応募があり、特選レシピ5点を決定し、実食審査を行いました。 令和5年3月に特選レシピ5点のレシピ動画をホームページで公開しました。			
評価	A			

担当または窓口 中丹西農業改良普及センター


		施策	学校等、食育の関心	目標	3
取組事項名	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）				
取組の内容	<p>農業者数の減少傾向が一層顕著となる中、地域農業・農村を維持するための新たな取組として、「小学生」に焦点をあて、「きょうと食いく先生」と協働し、自分が住む地域の農業について理解を深め、自分たちが育てた京野菜を学校給食で食べる経験を通して、将来農業に従事する人材を育てる取組を行う。また、保護者にもPRを行う。</p> <p>育てる作物：えびいも 場 所：福知山市立惇明小学校、福知山市立修斉小学校 実 施 方 法：惇明小学校は学校の畑で、修斉小学校は近隣のきょうと食いく先生ほ場でえびいもを育てる。収穫したえびいもは12、1月の学校給食で福知山市の小中学生に提供される予定</p>				
取組の実績	<p>惇明小学校は学校の畑で、修斉小学校は近隣のきょうと食いく先生ほ場でえびいもを育てました。収穫したえびいもは12、1月の学校給食で福知山市の小中学生に提供されました。</p> <p>開催日：惇明小学校（5/11、5/16、7/10、9/20、11/16） 修斉小学校（5/6、5/9、7/10、11/10） 場 所：惇明小学校、修斉小学校、福知山市半田えびいもほ場 参加者：惇明小学校5年生児童 90名、 修斉小学校5年生児童 60名</p> <p>実 績：9回</p>				
評価	A				




		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	多様な人材の農業参入・参画を促進（幼稚園）			
取組の内容	<p>農業者数の減少傾向が一層顕著となる中、地域農業・農村を維持するための取組として、「幼稚園児」に焦点を当て、地域で栽培されている京野菜について理解を深め、自分たちが育てた京野菜を試食する経験を通して、将来農業に従事する人材を育てる取組を行う。また保護者にも京野菜のPRを行う。</p> <p>育てる作物：えびいも 場 所：福知山市立福知山幼稚園、福知山市立昭和幼稚園 実 施 方 法：両校とも敷地内の畑でえびいもを育て、収穫したえびいもをえびいもご飯、おでん等に調理し、試食する。</p>			
取組の実績	<p>幼稚園の敷地内の畑でえびいもを育てました。収穫したえびいもはえびいもご飯、おでん等に調理し、試食しました。</p> <p>開催日：福知山幼稚園（5/12、7/15、9/12、11/24） 昭和幼稚園（5/20、7/15、9/14、11/22） 場 所：福知山幼稚園、昭和幼稚園 参加者：福知山幼稚園 すみれ組27名、たんぼぼ組23名 昭和幼稚園 すみれ組28名 実 績：8回</p>			
評 価	A			

		施策	地域、食育の関心	目標	9
取組事項名	きょうと食いく先生等食育実践者間の意見交換会の開催				
取組の内容	<p>丹後保健所と共催する食育フォーラム（令和4年10月27日、Zoomと対面のハイブリット形式での実施）において、地域の食育体験を充実させることを目的に、食育実践者による食育トークセッションを開催します。「多様な食プログラムの展開」、「子どもに対する食育の課題」をトークテーマとし、参加者の意見を交えながら、地域の食育の在り方について検討します。</p> <p>目標：年1回</p>				
取組の実績	<p>10月27日（木）、丹後保健所講堂（Zoomにて同時配信）にて食育関係者84名を対象に、食育フォーラムを開催しました。</p> <p>丹後地域で食育を実践されている、合同会社tangobarの関奈央弥氏と久美浜湾牡蠣漁師の豊島淳史氏を講師として迎え、各々の活動紹介、地域の食育体験を充実させることを目的としたトークセッションを行いました。</p> <p>参加者からは、「当たり前に見えることが出来る食材も、現地に赴き、見て聞いて体験することで、学びが深まると思いました。」「食の体験プログラムは、受け入れ側である生産者・参加者双方に学びがあることから、重要な取組であると感じました。」といった感想をいただきました。</p>				
評 価	A				


担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部農商工連携・推進課

施策	学校等	目標	3
取組事項名	きょうと食いく先生等派遣事業利用セミナーの開催		
取組の内容	<p>府が実施するきょうと食いく先生等派遣事業について、丹後管内における食育を推進することを目的に、事業利用者を対象にセミナー（令和5年2月、対面形式での実施）を開催します。保育所や幼稚園等において、当事業の利用が乏しいことから、授業数向上に向けて、本セミナーで、幼児とその保護者向けの授業をきょうと食いく先生とともに考案し、事業利用者である保育所や幼稚園等の先生を対象に周知します。</p> <p>目標：年1回</p>		
取組の実績	<p>2月4日（土）、丹後保健所講堂にて丹後管内の保育園等で勤務する職員を対象に、きょうと食いく先生プレゼンツ幼児向け授業紹介セミナーを開催しました。</p> <p>本セミナーでは、幼児期の食育を推進するため、食いく先生の菱田氏、三野氏、松山氏とともに幼児向け授業例を作成し、幼児向け食育授業の紹介を行いました。また、保育園等への講師派遣を支援する食育KIDS応援事業について、実際に活用いただけるよう利用手順などを説明しました。</p> <p>参加者からは、「話を聞きとても興味を持ちました。園に持ち帰り、事業活用を検討しようと思います。」といった感想をいただきました。</p> 		
評価	A		

担当または窓口 丹後農業改良普及センター


施策	学校等	目標	
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援		
取組の内容	<p>小学校が「総合的な学習の時間」の中で取り組む、大豆についての学習、栽培から収穫・加工までの体験において、大豆についての学習と栽培体験を普及センターが支援します。</p>		
取組の実績	<p>6月8日（水）、宮津小学校の3年生61名を対象に、普及センター職員が講師となってスライドやクイズにより大豆栽培についての授業を行い、その後、近隣のほ場にて播種作業を支援しました。また、7月6日（水）には生育促進のための除草と土寄せ作業を支援しました。</p> 		
評価	A		

担当または窓口 丹後保健所

施策	家庭、学校等、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	食育フォーラムの開催		
取組の内容	<p>農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりを進めることを目的とした講演会等を開催します。</p> <p>目標：年1回</p>		
取組の実績	<p>10月27日（木）に他部局と連携し、食育フォーラム（食育に関する講演及び活動事例報告）をZoomと対面のハイブリッドで開催したところ、84名の参加がありました。</p> <p>同志社女子大学 生活科学部 食物栄養科学科教授の小切間 美保氏から「朝食摂取推進に向けた取り組みと提案」をテーマにご講演をいただいた後、丹後地域のきょうと食いく実践者2名から活動事例の報告を交えたトークセッションをしていただきました。</p> 		
評価	A		


担当または窓口 丹後保健所


施策	食育の関心	目標
----	-------	----

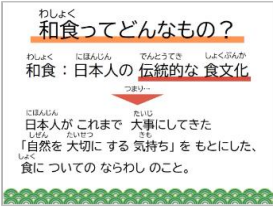

取組事項名	食育月間の取組	
取組の内容	食育月間である6月に振興局庁舎内府民ホールにおいて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。	
取組の実績	<p>「適塩」をテーマにリーフレットやフードモデル等を展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。</p> 	
評価	A	

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課

施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進	
取組の内容	<p>「食に関する指導の全体計画」に基づき、全教職員の共通理解のもと、体系的・継続的に食育の取組を展開し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるよう取り組みます。</p> <p>また、食育に関する教職員の意識の向上を図り、各教科等や特別活動等、あらゆる機会を通じた食に関する指導を充実します。</p>	
取組の実績	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導の全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体で取組を進めました。</p> <p>「食育月間」の取組、毎月19日の「食育の日」の取組、学校行事や「学校給食週間」の取組等について、組織的・計画的に学校全体で進めました。</p> <p>【実践例】 総合的な学習で、お米づくりの体験や農家の方からお話を聞き、収穫したお米がどのように変化するかなどを学習し、学びを深めることができました。</p> 	
評価	A	

		施策	学校等	目標	2
取組事項名	調理体験等の充実				
取組の内容	基礎的・基本的な調理の知識と技能を身に付け、日常生活で実践できるようにします。朝食や食事の組み合わせや食文化の継承等について理解を深めるとともに、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わう取組をします。				
取組の実績	<p>各学校は、家庭科、技術・家庭科の授業等において、様々な工夫を凝らしながら、学校や地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。</p> <p>【実践例】 地域の方の協力のもと実施された「食の体験活動」では炊き込みご飯やすまし汁、ほうれん草のごま和え、さばの味噌煮作りに挑戦しました。和食の味の基本であるだしの「うまみ」を体感したり、炊き込みご飯の具材の切り方や魚の捌き方などを講師の方から教わり和食の基本の形を学びました。</p> 				
評価	A				

		施策	学校等	目標
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進			
取組の内容	将来にわたる健康の保持増進のため、教科等と関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図ります。			
取組の実績	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。学校給食を実施している府内すべての小・中学校・義務教育学校・府立学校等で「和食の日（11月24日）」について取組を実施しています。</p> <p>【実践例】 11月24日の和食の日に合わせて、だしの効いたすまし汁を入れた和食献立の給食を実施しました。和食やだしについての内容で作成した動画を給食時間中に視聴し、和食についての理解を深めました。</p>  			
評価	A			


施策	家庭	目標	2
----	----	----	---

取組事項名	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進		
取組の内容	心身の成長や健康の保持増進の上で食事は規則正しく摂ることが大切であり、特に朝食を摂るなど望ましい食習慣を身に付けるよう取組を推進します。		
取組の実績	<p>各学校の特別活動や総合的な学習の授業等において、朝食の大切さを学習し、日々の食生活について振り返る機会となりました。</p> <p>【実践例】 全校を対象に行った『元気パワーアップデイズ』の取組から、ほとんどの児童が毎日朝ご飯を食べて登校していることが分かりました。しかし中には、毎日ではない児童や朝は食べられない児童がいる実態も分かりました。そこで、栄養教諭より朝ご飯はどのような効果があるのか、またその食べ方や栄養バランスについて講話を受けました。児童からは「今日はココアしか飲んでいなかったから、毎日気を付けて簡単に食べられるものでも食べてから学校に行きたいと思った。」や「いつもご飯とおかずとお味噌汁をのんでいるから、続けていきたい。」「黄色の栄養が足りないから意識して食べていきたい。」と感想があげられました。</p>		
評価	A		

施策	学校等	目標	4
----	-----	----	---

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進		
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食等を取り入れることにより、食文化や地産地消への理解を深めるよう給食を通じた指導もあわせて実施します。		
取組の実績	<p>「食に関する指導充実指定事業」「食育月間」「食育の日」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用し地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での資料やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し普及を図りました。</p> <p>【実施例】 地元の旬の食材や地域のよさを知ることがをねらいとし、毎月19日を「みやづ食の日」と定め、その季節に取れる地元の食材をふんだんに使った給食を提供しています。また、食の日に合わせ「みやづ食の日だより」を発行し、保護者にも啓発をしました。さらには、生産者の方への取材の動画をTeamsを活用して、給食を食べている市内の幼稚園・小学校・中学校に配信し、給食の時間に視聴しました。食の日を通じて、地域の食材への理解や給食への関心の高まりが見られます。</p>		
評価	A		

担当または窓口 保健体育課

施策	学校等	目標	3
取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成		
取組の内容	食の専門家である「きょうと食いく先生」や「食生活改善推進員」等の外部講師による指導、更には地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。		
取組の実績	<p>各学校では、きょうと食いく先生や地域の生産、関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験活動を実施しました。</p> <p>【実施例】 きょうと食いく先生を講師に招き、和菓子の歴史、種類、季節や行事との関わりなどについて講義を通して学びました。和菓子の由来、分類、さらに四季折々の和菓子や行事との関わりについて教わり、実際にお仕事に使われている本型なども見せていただくなど和菓子について理解を深めることができました。この授業で学んだ内容はその後実施した茶道体験につなげ、講義の中で初釜に使われる和菓子として紹介があった「花びら餅」を食べる体験も行うことができました。</p> 		
評価	A		

担当または窓口 保健体育課

施策	学校等	目標	
取組事項名	教職員研修の充実		
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進交流会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。		
取組の実績	初任者・新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実指定事業」における京都府食育推進連絡協議会及び交流会、京都府学校給食衛生管理推進研修会、京都府学校給食研究協議大会等において、教職員の食育に対する意識が向上するよう各種研修会等を開催しました。		
評価	A		

担当または窓口 教職員人事課

施策	学校等	目標	
取組事項名	採用選考試験等の実施		
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。		
取組の実績	今年度、栄養教諭3名を採用し、全体で 97人（京都市を除く）の配置数となりました。		
評価	A		